

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達療育 レンテ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2026年1月15日 ～ 2026年2月9日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23件	(回答者数)	15件
○従業者評価実施期間	2026年1月15日 ～ 2026年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2件	(回答者数)	1件
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の課題に合わせた目標を提案、個別プログラムを作成、エビデンスに基づいた支援を行っている	・個別セラピーと集団セラピーを提供、環境ごとに課題のアセスメント、目標設定を行っている ・個々に合わせて支援プログラムを作成、具体的な目標行動に対し数値、記述の詳細な指導記録を取り、指導の調整、見直しを行っている	職員間でよりコミュニケーションを取りやすい環境作りを進め、共通認識を持って統一した指導を行っていく
2	職員の専門性、資質向上の機会を多く作っている	・社内で定期的に勉強会を実施している ・キャリア年数に合わせた職員研修を行っている	更に研修機会を充実させ、各職員が専門的な知識、技術を磨いていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境整備が十分ではない。	個室のスペースを十分に用意している為、集団活動のスペースとしては手狭になる時がある。	・部屋の移動が可能なグループは、別室に移動して体を動かす活動を実施する。 ・対応が可能な時は公園遊びを増やし、屋外で体を動かす活動を実施する。
2	地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	安全重視の観点から、公園遊びや外出プログラムの実施機会が減っていた。	外出時の安全管理に関する研修を増やし、公園遊びや外出プログラムの実施を増やす。
3	保護者同士の関わりやイベントの開催、SNSなどを通じた情報発信がない。	ニーズが少なく、個人情報保護の観点も踏まえ、必ずしも行うべきという意識ではない。	様々なご意見や時勢など総合的に考え、安全かつご満足いただける対応があれば検討を進めたい。